

## 新地町耕作放棄地対策協議会における耕作放棄地再生利用の事例

取組主体 ・ らちはまだいこんの会

地区名 ・ 福田地区

解消面積 ・ 13a

再生作業年 ・ 平成24年度

導入作物 ・ イチゴ等

取組のきっかけ ・ 震災後の営農再開

## 取組の概要

らちはまだいこんの会では、避難先である広畑仮設住宅近接の耕作放棄地において、農地の再生作業や経営展開等を実施する「実証ほ場」を設置し、イチゴの栽培を中心とした営農を行っています。

また、保育園のイチゴ狩り体験や小学校の苗植え体験を行い、積極的に地域との交流を図っています。

## 取組のきっかけ

東日本大震災により農地や農業施設を喪失するなど甚大な被害を受け、長年埴浜地区において営んできた農業から離れざるを得ない状況となりました。

震災から1年が経過し、農業への思いが強くなり、避難先の福田地区の耕作放棄地において営農を再開することを決心しました。

## 取組主体の感想

農業を再開できた喜びはもちろんですが、地域住民との交流から生まれた絆がもっとも大きな収穫です。

地域の保育園の園児を招いたイチゴ狩りや小学校の児童の苗植え体験はとても好評で、取れたての農産物を子供たちに食べてもらうことは、地域の食育活動にもつながると感じています。なにより、子供たちの笑顔は苦しい避難生活のなかで大きな癒やしとなっています。

## 解消状況例



連絡先：新地町耕作放棄地対策協議会（新地町農林水産課）  
 電話番号：0244-62-2194 FAX：0244-62-4043  
 活用事業：被災者営農継続支援耕作放棄地活用事業（国）